



平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 8 月 6 日

上場会社名 天昇電気工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 安藤 武彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 横山 彰 TEL 042(788)1880
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 13 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 1 四半期	5,169	0.2	25	—	△109	—	△116	—
22 年 3 月期第 1 四半期	5,160	△36.6	△80	—	△311	—	△224	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	△6 86	— —
22 年 3 月期第 1 四半期	△13 20	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	21,172	3,482	14.0	174 56
22 年 3 月期	21,387	3,241	14.5	182 62

(参考)自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 2,965 百万円 22 年 3 月期 3,102 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 3 月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
23 年 3 月期	— —	— —	— —	— —	— —
23 年 3 月期(予想)	— —	0 00	— —	0 00	0 00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	9,800	△9.3	200	—	70	—	△20	—	△1 18
通 期	20,500	△8.3	750	232.6	420	725.7	200	—	11 77

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	17,014,000株	22年3月期	17,014,000株
23年3月期1Q	25,932株	22年3月期	25,832株
23年3月期1Q	16,988,082株	22年3月期1Q	16,989,194株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- 上記の予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により上記の予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P3
2. その他の情報	P4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P4
3. 四半期連結財務諸表	P5
(1) 四半期連結貸借対照表	P5
(2) 四半期連結損益計算書	P7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P10
(5) セグメント情報	P10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とする海外の景気回復を背景とした生産の増加や環境に配慮したエコポイントの効果等により、回復基調になりつつある一方で、欧州を中心とした財政不安による金融資本市場の動揺や景気の下振れ懸念及びデフレの影響など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境の下、当社グループのコア事業であります薄型TV外装部品分野におきましては、エコポイント制度及び来年7月からの地デジ放送開始効果等により販売数量は大幅に伸びておりますが、最終製品の価格下落は依然として続き、今後の動向は楽観できない状況で推移しております。

当社グループは家電外装部品及び自動車部品を中心に受注拡大、生産性向上に取組み、収益確保に努めてまいりましたが、当第1四半期連結会計期間における売上高は、51億69百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。損益面では、徹底した原価削減及び経費節減に取組んだこと等により営業利益25百万円（前年同四半期は80百万円の損失）、経常段階では、持分法による投資損失50百万円等を計上したことにより、経常損失1億9百万円（前年同四半期は3億11百万円の損失）、四半期純損失1億16百万円（前年同四半期は2億24百万円の損失）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

薄型TV部品関連の売上高が減少したこと等により、売上高は42億17百万円（前年同四半期比5.8%減）となりましたが、原価削減等を進めたことにより営業損失90百万円（前年同四半期比123.7%増）となりました。

中国成形関連事業

薄型TV部品関連の売上高が増加したこと等により、売上高は1億47百万円（前年同四半期比6.0%増）となりましたが、原価及び経費削減が当初計画より進まず、営業損失29百万円（前年同四半期は71百万円の損失）となりました。

ポーランド関連事業

年初より薄型TV部品関連が好調に推移し、売上高は7億53百万円（前年同四半期比54.9%増）、営業利益89百万円（前年同四半期は40百万円の損失）となりました。

不動産関連事業

国内3拠点の賃貸物件から構成されており、当第1四半期連結会計期間における売上高は前年同四半期と同水準の75百万円、営業利益55百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、211億72百万円（前連結会計年度末比2億14百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金が47億83百万円（前連結会計年度末比3億86百万円減）あったものの、受取手形及び売掛金が40億87百万円（前連結会計年度末比3億84百万円増）、棚卸資産9億26百万円（前連結会計年度末比6百万円増）となったことなどにより、100億65百万円（前連結会計年度末比40百万円増）となりました。

固定資産は、減価償却実施などにより、111億7百万円（前連結会計年度末比2億55百万円減）となりました。

負債

負債合計は、176億89百万円（前連結会計年度末比4億56百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が53億38百万円（前連結会計年度末比8億24百万円減）、借入金30億95百万円（前連結会計年度末比1億33百万円増）等により、101億55百万円（前連結会計年度末比4億20百万円減）となりました。

固定負債は、75億34百万円（前連結会計年度末比35百万円減）となりました。

純資産

純資産合計は、四半期純損失の計上の一方、少数株主持分5億16百万円（前連結会計年度末比3億77百万円増）があり、34億82百万円（前連結会計年度末比2億41百万円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は47億73百万円（前連結会計年度末比3億86百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億12百万円（前年同四半期比1億3百万円増）の資金の減少となりました。これは、主に減価償却費3億39百万円、売上債権の増加額3億78百万円、仕入債務の減少額8億17百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、82百万円（前年同四半期比1億24百万円増）の資金の減少となりました。これは、主に国内の有形固定資産83百万円の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4億53百万円（前年同四半期比2億31百万円増）の資金の増加となりました。これは、主に長期借入金の借入9億10百万円の増加要因の一方、長期借入金の返済6億21百万円等の減少要因があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常損失はそれぞれ0百万円、税金等調整前四半期純損失は28百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は40百万円であります。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,783	5,169
受取手形及び売掛金	4,087	3,703
製品	289	283
原材料	451	484
仕掛品	185	152
その他	269	240
貸倒引当金	△1	△8
流動資産合計	10,065	10,025
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,684	4,716
土地	2,405	2,404
その他(純額)	2,691	2,827
有形固定資産合計	9,781	9,948
無形固定資産	52	56
投資その他の資産	1,304	1,389
貸倒引当金	△32	△32
固定資産合計	11,107	11,362
資産合計	21,172	21,387
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,338	6,162
短期借入金	800	800
1年内返済予定の長期借入金	2,295	2,162
未払法人税等	47	85
賞与引当金	154	1
その他	1,520	1,365
流動負債合計	10,155	10,576
固定負債		
社債	175	275
長期借入金	5,741	5,623
資産除去債務	40	—
その他	1,576	1,670
固定負債合計	7,534	7,569
負債合計	17,689	18,145

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	1,076	1,193
自己株式	△5	△5
株主資本合計	3,177	3,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	40
為替換算調整勘定	△221	△231
評価・換算差額等合計	△211	△191
少数株主持分	516	138
純資産合計	3,482	3,241
負債純資産合計	21,172	21,387

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,160	5,169
売上原価	4,563	4,544
売上総利益	597	624
販売費及び一般管理費	678	599
営業利益又は営業損失(△)	△80	25
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	2	2
その他	55	17
営業外収益合計	57	23
営業外費用		
支払利息	85	69
持分法による投資損失	17	50
為替差損	151	22
その他	33	15
営業外費用合計	287	158
経常損失(△)	△311	△109
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	7
固定資産売却益	0	—
償却債権取立益	1	—
特別利益合計	1	7
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	0	—
貸倒損失	—	7
特別損失合計	1	36
税金等調整前四半期純損失(△)	△311	△138
法人税等	19	△44
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△94
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△107	21
四半期純損失(△)	△224	△116

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△311	△138
減価償却費	366	339
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	153
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△7
受取利息及び受取配当金	△2	△6
支払利息	85	69
為替差損益(△は益)	77	△32
持分法による投資損益(△は益)	17	50
有形固定資産売却損益(△は益)	1	1
有形固定資産除却損	0	—
償却債権取立益	△1	—
売上債権の増減額(△は増加)	△176	△378
たな卸資産の増減額(△は増加)	60	△3
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,073	△817
未収入金の増減額(△は増加)	105	8
未収消費税等の増減額(△は増加)	222	50
その他	△56	128
小計	△699	△555
利息及び配当金の受取額	2	6
利息の支払額	△117	△101
その他	1	—
法人税等の支払額	△2	△61
営業活動によるキャッシュ・フロー	△815	△712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△204	△83
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△2	0
投資有価証券の取得による支出	△0	△6
投資有価証券の償還による収入	—	6
短期貸付金の回収による収入	0	0
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207	△82

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200	—
長期借入れによる収入	650	910
長期借入金の返済による支出	△449	△621
社債の償還による支出	△100	△100
リース債務の返済による支出	△78	△91
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△0
少数株主からの払込みによる収入	—	355
財務活動によるキャッシュ・フロー	221	453
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	△44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△853	△386
現金及び現金同等物の期首残高	5,061	5,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,208	4,773

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	成形関連事業 (百万円)	不動産関連 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,085	75	5,160	—	5,160
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,085	75	5,160	—	5,160
営業利益又は営業損失(△)	△135	54	△80	—	△80

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 成形関連事業・・・家電外装部品、自動車部品、物流産業資材及び金型

(2) 不動産関連事業・・・土地及び建物の賃貸

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	中国 (百万円)	ポーランド (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,535	139	485	5,160	—	5,160
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	0	0	19	△19	—
計	4,554	139	486	5,180	△19	5,160
営業利益又は営業損失(△)	14	△71	△40	△97	17	△80

(注) 国又は地域の区分は、国別によっております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	534	89	624
II 連結売上高(百万円)	—	—	5,160
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.4	1.7	12.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属するおもな国又は地域は以下のとおりです。

欧州・・・ポーランド その他・・・中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に家電外装部品・自動車部品の生産・販売及び不動産賃貸を行っております。国内においては当社が、海外においては中国を天昇塑料(常州)有限公司、ポーランドを天昇ポーランドコーポレーション有限会社が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、上記の事業内容を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「日本成形関連事業」、「ポーランド成形関連事業」、「中国成形関連事業」、「不動産関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	ポーランド 成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	4,203	145	744	75	5,169	—	5,169
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	1	8	—	24	△24	—
計	4,217	147	753	75	5,193	△24	5,169
セグメント利益又は損失(△)	△90	△29	89	55	25	0	25

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引消去24百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。